

誠美だより

7

2016/7LY
誠美保育園

愛で、味わい、祝う

毎年の七夕飾りの笹は、小山内裏公園のご好意で、子どもたちと切り出しに出かけています。そして、そのお礼にと、多めに作った笹飾りを公園に届けています。

そして例年、7月の誕生会には七夕にちなんだ内容で構成していたのですが、今年から誕生会には純粹にお祝いの会として、七夕色を排した別の日へと移動してみる事になりました。他にも年間を通じてそういった伝統行事と重ねた誕生会がいくつかありましたので、先日のお知らせの通り、そちらもそれぞれを切り離して実施する予定です。

ちょうどよい機会であったので、園内でも親しんでいる伝統行事や慣習について、少し整理してみたところ、興味深いことや考えさせられる事もあったので、少しご紹介したいと思います。

園内に飾る「雛人形」「鯉のぼり」「笹飾り」は、「五節句」呼ばれる年に5回ある伝統的なお祝いの日です。残りのひとつは「七草の節句」、この日には園の給食で七草粥を食べています。残るもうひとつは「菊の節句」。世間では菊人形などを飾るイベ

ントもあるようですが、園内ではあまり馴染みがありません。

この5つの節句は、江戸時代の公的な祝日だったそうです。また、ご存知の通り、それぞれの日は、季節の植物と料理がセットになっています。

一月七日：七草とお粥（七草の節句）

三月三日：桃と菱餅（桃の節句）

五月五日：菖蒲と柏餅（菖蒲の節句）

七月七日：笹と素麺（七夕の節句）

九月九日：菊とお酒（菊の節句）

こう並べてみると、なんて洒落ているのだろう、そう思いませんか！

それぞれに頂く料理は「おせち料理」と呼ばれていたそうですが、今日では年初の一月のみ、それも正月料理を指す呼び名として使われていますよね。

江戸時代の公的な祝日だったことや、その行事を象徴する親しみやすいシンボル（植物）とネーミング、セットされた料理を頂くという期待感。子どもたちといっしょに家族みんなで楽しみやすかった事が、今日まで親しまれて続けている所以なのかなと想像します（菊の節句が、園内では親しみ難い理由もわかりましたが）。

豆まきをする節分は、「雑節」と呼ばれる暦の中のひとつです（全部で9つ）。先の「五節句」は元々は中国由来のようですが、こちらは農作業などの目安として、日本の気候に合わせて設けられたオリジナルな暦。給食で親しんでいるものには、この「雑節」に因んだものがたくさんあります。土用の鰻（他の食材で代用しますが）、お彼岸の牡丹餅、お萩などがそうです。

そして宗教由来の行事は、誠美まつりの盆踊り（仏教）、冬になれば、クリスマス会（キリスト教）、松飾り・餅付き・鏡開き（神道）。

伝統的な風習として園内で楽しんでいるものは、お花見、夏祭り、十五夜、収穫祭、そして運動会も、今や日本の伝統行事という枠で捉えるものなのかもしれません。

それにしても、なんと多くの伝統行事、風習の中で、私たちは生活しているのだらうかと驚きます。これも国民性・民族性なのでしょうか。同時に、こうして季節の移り変わりを追っているのだな、という事にも気付かれます。

生活に程よいリズムを与えてくれる伝統行事。それを通して季節の変化をも感じて

いく事は、子どもたちが、五感を通じて「時間の流れ」を感じていく体験でもあるように思います。季節の変化の少ない南国で暮らしたことがある知人が、「過去の出来事を、順番に思い出すための手掛かりがない。」と嘆いていた事を思い出します。

「あの時あんな事があったね。」と身近な大人といっしょに振り返る事で、それが子ども中で意味付けられていきます。これは、目の前にない物事を思い浮かべようとする行為（「表象」と言います）。一歳半くらいから育っていく力と言われ、実はこれが「時間感覚」を獲得していくことに繋がっているのです。

草木を愛で、菜を味わい、その日を祝う。後に振り返り、共に語り合う…そんな風流な暮らしの中にこそ、人の育ちはある…

カレンダー	
7月	5（火） 発育測定 (012)
	6（水） 発育測定 (K)
	7（木） 乳児健診
	9（土） 誠美まつり
	12（火） 防災訓練
	14（木） 誕生会

うした毎日ばかりが、私にも訪れますように…と短冊には書いておこう。

園長 折井誠司

そうめん流しへのお誘い

8月7日（日）11時から園庭にて、そうめん流しを開催します（雨天中止）。地域のみなさんにも参加頂けるイベントですので、お知り合いの方などもお誘い下さい。詳細は、掲示板ポスター等をご覧の上、参加される方は、掲示板下の参加表にご記入下さい。

お知らせ

浅野直美（しろぐみ担任）が入籍致しましたのでご報告します。

- 編集 誠美保育園
- 編集人 折井誠司
- 発行人 折井誠司
- 印刷所 誠美保育園
- 発行所 社会福祉法人 誠美福祉会

〒192-0364 東京都八王子市南大沢5-12
電話 042-6775-1551
ファックス 042-677-5643
Email seib@hokuen.jp
http://hokuen.jp